

# HAPPY NOTE で新聞記事を活用して 自分の意見を持つ

宮崎県宮崎市 宮崎第一中学校  
教諭 池間 恵美子

## ○目的

小論文で例年出題されるテーマは、あまり一般的なものではなく、時事的な知識がないと書けないものが増えてきています。時事問題については「予備知識を増やしておくこと」が大事になってきます。しかし、大学入試に臨む高校生になって、予備知識を増やしていく余裕などないのが現状です。

そこで、中学生の間に新聞に親しませ、それぞれの記事について自分の意見を持ち、それを論理的に書く力をつけるという目的でHAPPY NOTEの活動を実施しました。

論理を構築する力があれば何とか文章は書けるものですが、逆に論理を構築する力がないと、材料に頼る書き方になりますので、予備知識がないと手も足もでません。中学生には大学入試など全く念頭にないと思いますが、読む力、書く力、考える力に加えて予備知識を持っていると、大学入試はもちろん、社会生活においても色々な場面で役に立ちます。新聞記事を活用することで、広く社会に目を向けさせると共に、時事問題に興味関心を持ちながら語彙を豊富にし、思考力、表現力を身に付け、学力向上に繋げていきたいと考えました。

## ○内容

全学年で昨年、さまざまな新聞記事を活用した取り組みをして、生徒達の知的好奇心を大きく成長させることができました。

そこで、今年度は1学年から学年ごとに少しずつレベルを上げ、3学年を通した「HAPPY NOTE3ヵ年計画」をうちたてました。1学年では1学期、字数を決めずに自分の好きな新聞記事を選び、自由に感想を書く。2・3学期、人が選んだ記事に対して、感想を書く。人が書いた感想に対して自分の意見を書く。2学年では1学期、政治・経済・スポーツ・時事・宮崎・世界・道徳・自由というジャンルを分け、記事を選ぶ。2・3学期、人の意見と違った視点での意見を書く。3学年では自分の意見と別の立場での意見とをまぜて200字または400字と字数制限の幅を広げ、2・3学期に具体例をいれ、自分の意見を書く、というようにしました。

ノートは各学年で一括購入し、毎日書くようにしたのですが、毎日家にもって帰るノートには他の生徒の意見文が載っており、保護者の方々までもが興味を持って、読んでいたという相乗効果があがり、生徒のやる気につながっていきました。

## ○結果

優秀な意見文は各担任がコピーして掲示することで、1年間、興味関心が途切れることなく、続けられました。今後も継続していこうと考えています。